

## 7. 住宅改善の事例

### 事例1 老後を見据えての住宅改善

●改善前の生活状況：60代の一人暮らしの女性で、現在は健康。2階の寝室への急な階段の上り下りが心配。1階で快適にシンプルに日常生活が送れるようにと改善に踏み切った。

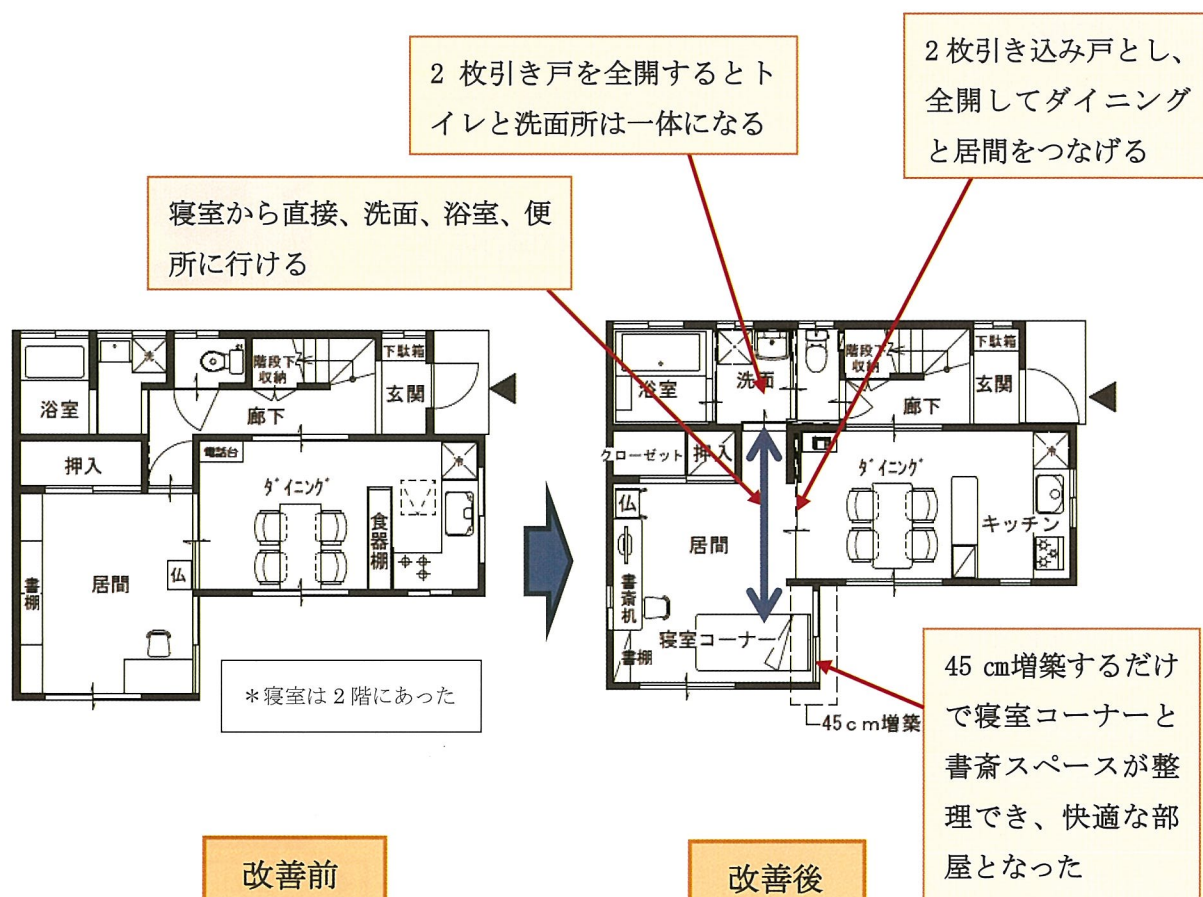
●改善の内容：DKと居間（書斎兼寝室）は一体に使えるよう、引き込み戸にした。洗面所・トイレの間取りを変更し、仕切りは2枚引き戸とした。浴室はユニットバスに変更。床は全て平らにした。

●改善後の生活状況：1階だけの生活が可能となった。一部増築して寝室コーナーを広くし、DKからあまり気にならないベッドの配置が可能になった。寝室から洗面所へ直接入れ、洗面所、トイレ間の引き戸を開ければ車いすでもトイレを使えることを想定。

●費用：500万円（耐震改修、キッチン更新、外壁改修費用別途）

●工期：3か月

注：将来車いすでの外部への出入りは昇降機等で庭から行うことを想定し、玄関周りの段差解消工事は行わなかった。





●改善前：居間（書斎）



●改善後：居間（書斎兼寝室）

・寝室コーナーも落ち着く



●改善前：ダイニングから居間



●改善後

：ダイニングから居間兼寝室

- ・引き戸を全開して一体に
- ・ベッドは気にならない



●改善後：洗面所からトイレ

- ・引き戸が2枚とも壁に引き込まれて出入りが広くなり、車いすでも使える



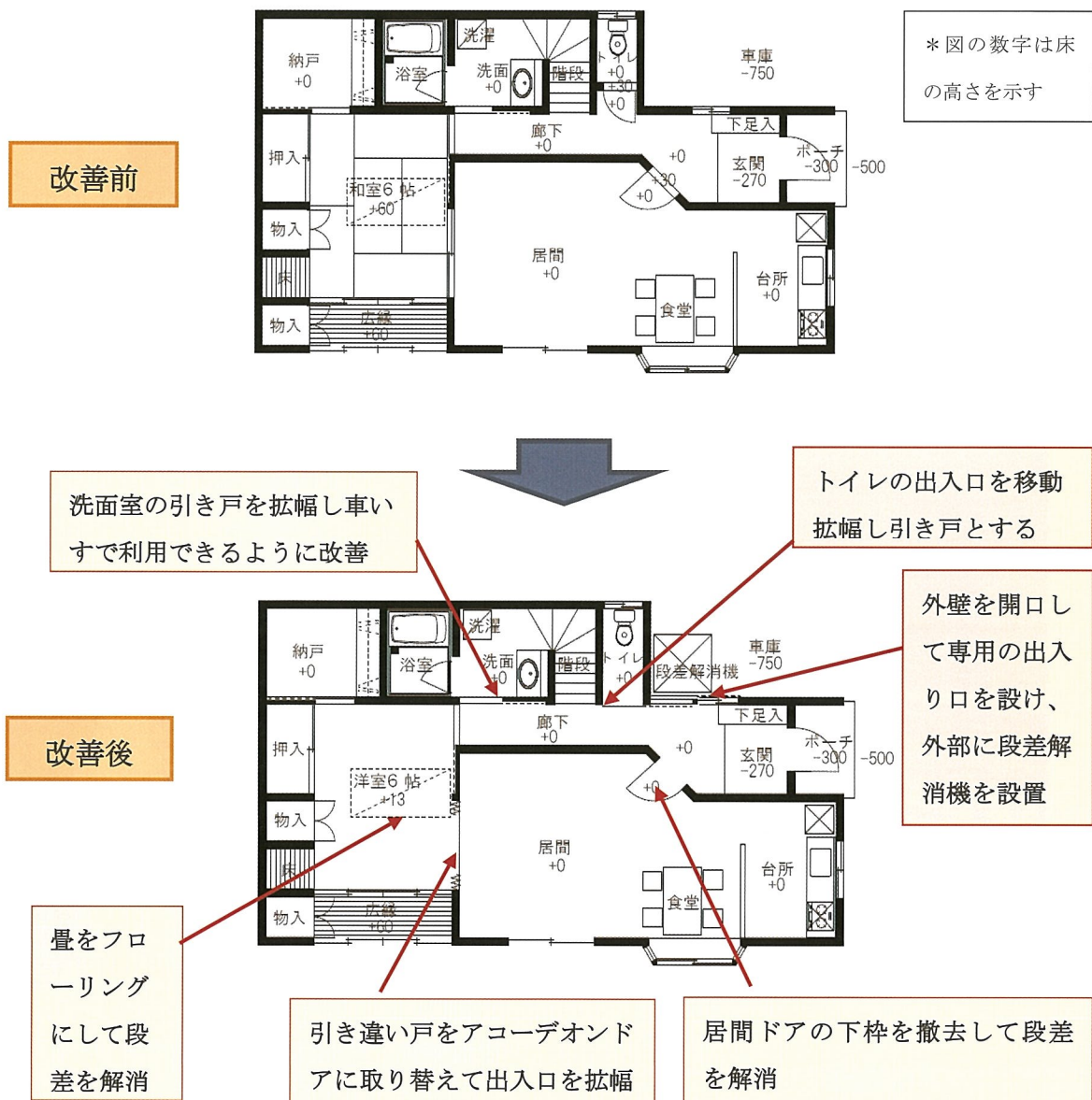
●改善後：ダイニングとキッチン



## 事例2 老老介護支援のための住宅改善

- 改善前の生活状況：高齢夫婦の二人住まい。妻は加齢と病気（リウマチ、糖尿病）の進行により車いすの生活となる。居間のドア下枠の段差が不便、車いすで便器に接近できない、玄関及びポーチに段差があり、車いすでの外出が困難などの不便を感じていた。介護負担の軽減のために改善を希望。
- 改善の内容：居間ドア下の段差解消、トイレ出入口の拡幅、玄関脇に新たに専用の出入口を設置（段差解消機による屋内外の段差解消）
- 改善後の生活状況：車いすでのスムーズな移動が可能となり、介護負担が軽減
- 費用：100万円（段差解消機のコストは別途）
- 工期：1ヶ月

注：外壁の開口や内壁の変更には構造的な検討が必要です。状況により補強が必要となる場合があります。





●改善前：ドア下枠の段差

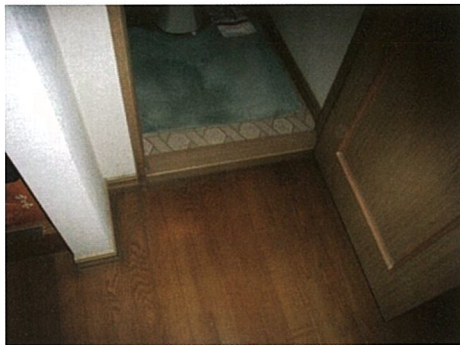
ドア下枠の段差



下枠の撤去により  
車いすの出入りが  
自由になる



●改善後：下枠の撤去



●改善前：出入り口は開き戸

便所出入り口



ドア幅を壁幅いっば  
いに広げて引き戸と  
し、車いすで便器に  
接近可能とした



●改善後：出入り口幅を広げ、引き戸に



●改善前

・ 出入り口設置前の玄関ホールの状態

玄関ホールに外部の段差解消機のための出入り口を設置



●改善後

・ 外部の段差解消機のため、新たな  
出入り口を設置



●改善前：車庫部の外壁

・ 開口して出入り口に

外部に段差解消機を設置



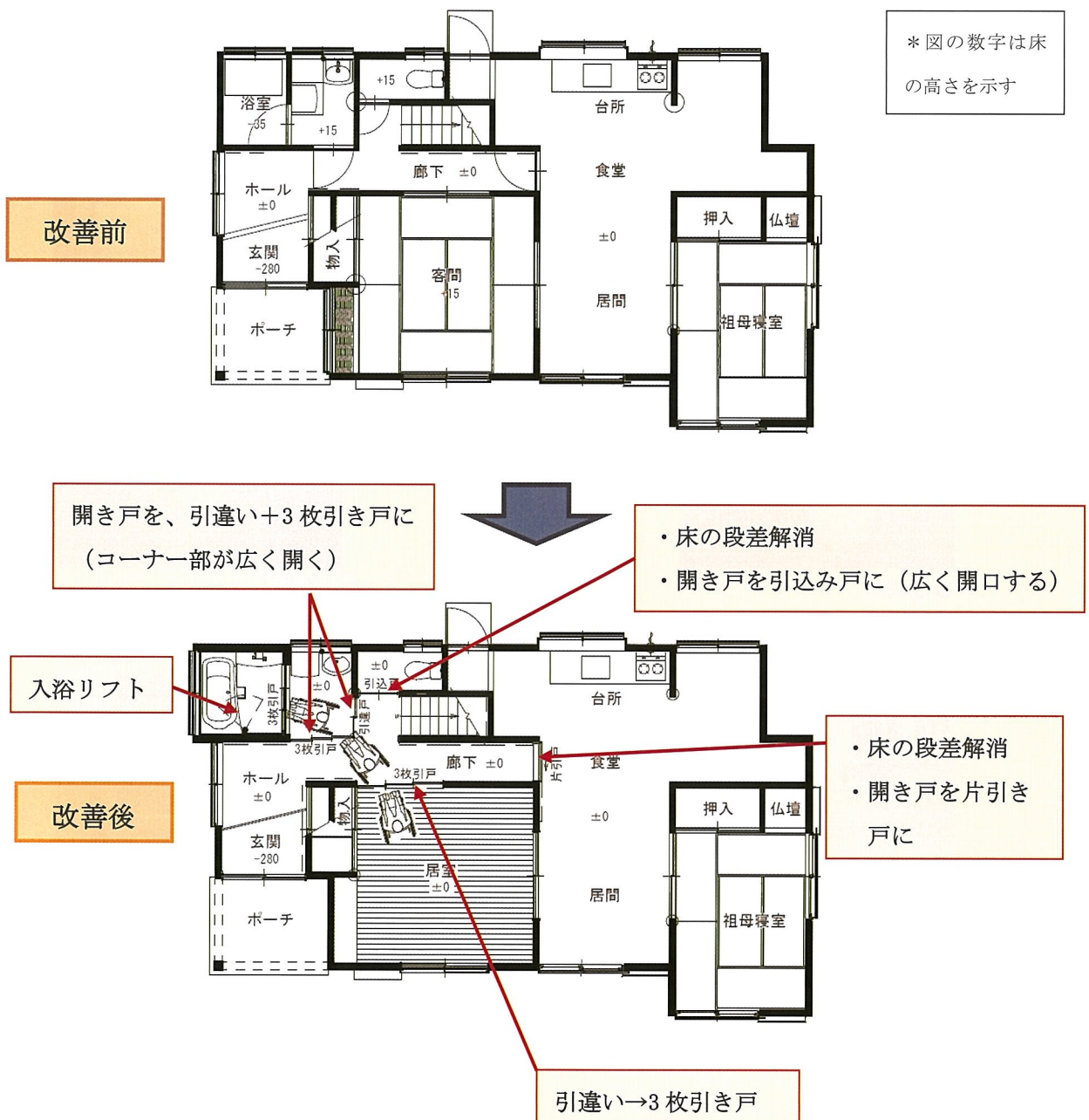
●改善後

・ 車庫に、段差解消機の設置



### 事例3 高齢者と障害者の住宅改善

- 改善前の生活状況：88歳の祖母と両親、身体障害1級の長男の4人家族。将来的に身体機能の低下が予想される祖母に対する備えと脊髄小脳変性症に伴う下肢機能の衰えが著しい長男のための住宅改善を希望
- 改善の内容：客間（和室）を長男の居室（洋室）に。各室の床の段差解消。引き戸・引込み戸・3枚引き戸等で出入口の有効幅を拡幅。洗面所の配置改善。入浴リフトの導入。改善に伴い家の劣化損傷部位の補修ならびに耐震補強
- 改善後の生活状況：車いすでのスムーズな移動が可能となり、介護負担が軽減した
- 費用：500万円（入浴リフト別途）市からの助成金 377,550円
- 工期：3ヶ月





●改善前：洗面所入口

・外開きで、入るのが困難



●改善前：洗面所入口

・段差は 15 mmある

・右はトイレ入口、外開き戸で狭い



●改善後：引違い＋3枚引き戸の組合せ

・入口、コーナー部が広く開口する



●改善後：引違い＋3枚引き戸

・写真は入口の戸が全開状態



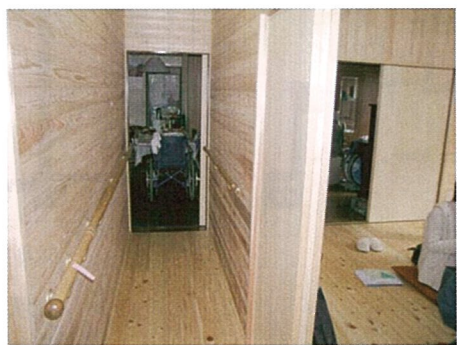
●改善前：浴室



●改善前：廊下・客間



●改善後：浴室



●改善後：廊下・客間